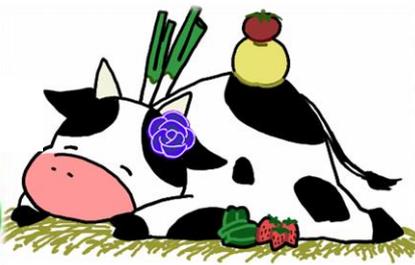


普及だより いわき



「サンシャインいわき」
笑顔あふれる
農林水産業の未来を目指して

2024.5 No.162

編集・発行
福島県 いわき農林事務所 農業振興普及部
住所 〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地
電話 農業振興課 (0246) 24-6160
地域農業推進課 (0246) 24-6161
経営支援課 (0246) 24-6162
FAX (0246) 24-6196

職員紹介



～ごあいさつ～

日頃より、いわき地方における農業振興に御尽力頂き感謝申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、昨今の世界的情勢の影響による資材や飼料等の高騰、さらに昨年は、記録的な猛暑、台風13号被害といった厳しい気象条件が重なった年でもありました。

当部では、令和6年度も「サンシャインいわき！笑顔あふれる農林業をめざして！！」をスローガンとし、農業振興に資する補助、奨励事業を実施するとともに、担い手の確保・育成を目標とした「ひとづくり」、高品質な農畜産物の生産を推進する「ものづくり」、地域の特色を活かした農業・農村の活性化を図る「地域づくり」の3つを柱とした普及指導活動を展開してまいります。

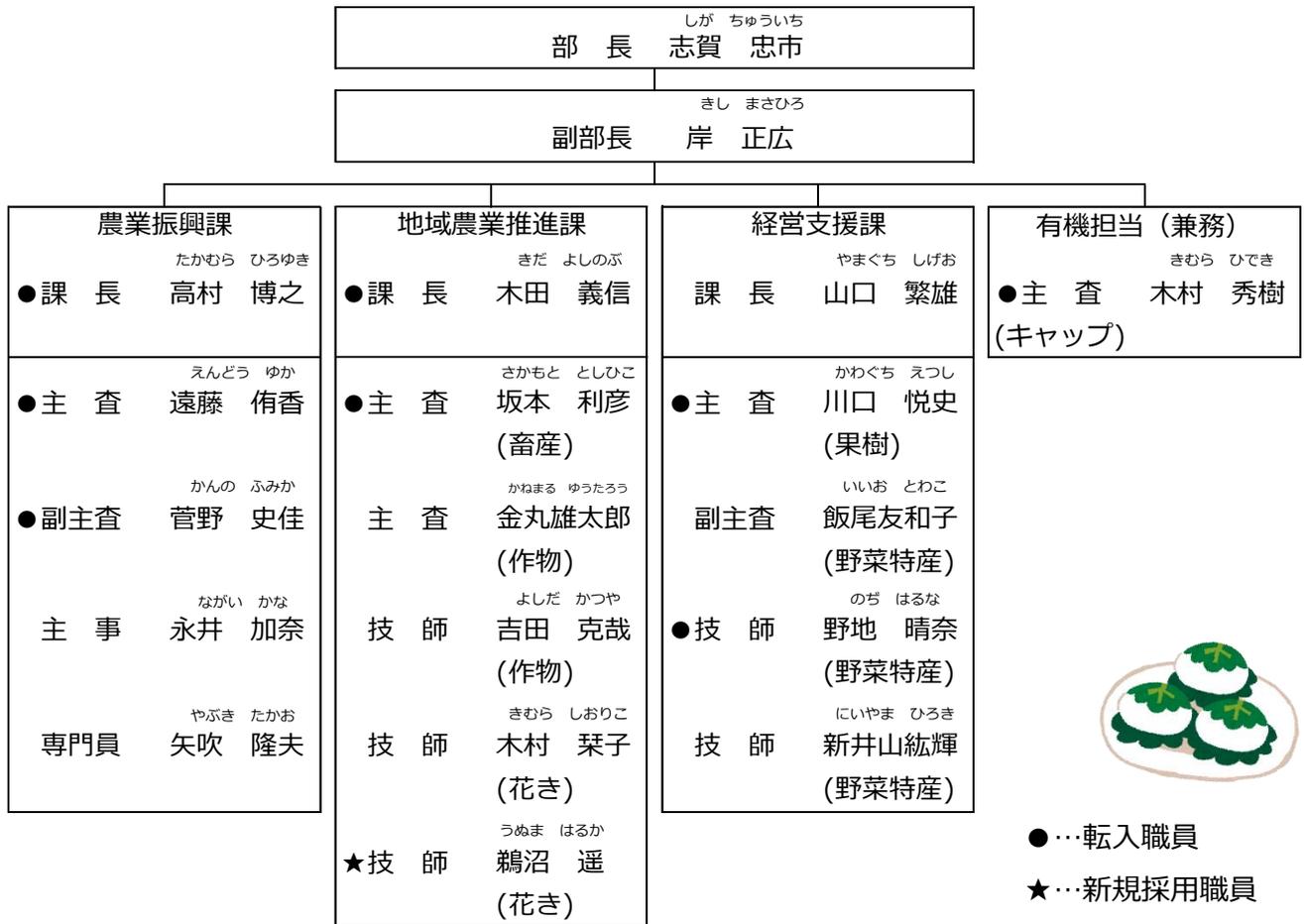
農業者、関係機関・団体の皆様とともに、いわき地方の農業振興に努めてまいりますので、今年度もよろしくお願いたします。
(農業振興普及部長)

～転入・新規採用職員より一言～

高村課長	県南農林事務所より参りました。普及2課と連携して、いわきの農業を盛り上げて行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
木田課長	相双農林事務所から参りました。いわきは7年ぶりの勤務となります。新しい道路もできたようなので、楽しみです。よろしくお願いいたします。
坂本主査	9年ぶりにいわき市に戻ってきました。顔見知りの畜産農家の方も多いので、再会するのを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。
遠藤主査	いわき市は2回目の勤務となりますが、今回は園芸関係の補助事業を担当することになりました。よろしくお願いいたします。
川口主査	果樹、新規就農、農業災害を担当します。地元がいわきなので、生まれ故郷に貢献できるように頑張りますのでよろしくお願いいたします。
菅野副主査	相双農林事務所から参りました。相双地域の外で仕事をするのは初めてなので新鮮な気持ちです。補助金関係の業務を担当しますので、よろしくお願いいたします。
野地技師	会津農林事務所から参りました。初めての浜通り勤務で、主に野菜を担当します。よろしくお願いいたします。
鵜沼技師	新採用職員としてお世話になります。一日でも早く仕事を覚えられるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

～令和6年度農業振興普及部体制～

令和6年度は、転入職員8名、新規採用職員1名を含む計19名で皆様を支援してまいります。



～主な業務と担当課～

お気軽にご相談ください!



農業振興課

- 補助・奨励事業
- 農業経営基盤強化促進法
- 水田農業推進
(経営所得安定対策)
- 畜産経営基盤強化推進
- 農業金融
- 耕作放棄地対策

直通☎：0246-24-6160

地域農業推進課

- 普及指導計画
- 集落営農の推進
- 中山間地農業の振興
- 青年農業者育成
- スマート農業の推進
- 鳥獣被害対策
- 農産物加工、直売
- 女性農業者育成

直通☎：0246-24-6161

経営支援課

- 認定農業者の育成
- 就農・農業参入の相談
- 家族経営協定の推進
- 環境と共生する農業の推進
- 環境負荷低減事業(みどり認定)
- GAP取得支援
- 緊急時モニタリング

直通☎：0246-24-6162

～令和 6 年度の普及活動について～

ひとづくり



就農相談会



江名小学校野菜教室

1 ねらい

- 担い手の育成確保のため、意欲ある農業者を認定農業者に誘導すると共に、農業法人の設立を支援し、農地を受け継ぐ経営体を育成します。
- 新たな担い手の育成確保のため、新規就農者の確保と、就農後の経営・技術面の指導を行い、経営の安定化を図ります。

2 令和 5 年度成果

新規認定農業者 5 名、新規就農者 54 名、就農相談 132 件
2 名が就農に向けた研修を実施

3 令和 6 年度計画

- 新規認定農業者の掘り起こし、農業経営改善計画作成支援
- 家族経営協定の推進、農業法人設立支援、
- 新規就農者への重点支援、農業青年クラブ活動支援

ものづくり



収穫前の稲



研修生と受入農家（ナシ）

1 ねらい

- 水田を活用した土地利用型農業と畜産の振興のため、需要に応じた米づくりの推進や大豆・麦等の栽培支援、和牛子牛の生産拡大を支援します。
- 園芸産地振興のため、「福島県園芸振興プロジェクト」品目別計画に沿った取組や部会活動の支援等により、産地の活性化を図ります。
- 持続可能な農業の推進のため、認証 GAP 取得や有機農業を推進し、安全な農産物の供給と持続性の高い農業生産を目指します。

2 令和 5 年度成果

単収向上 小 麦：196kg/10a（前年比 147%）
秋冬ねぎ：2,369kg/10a（前年比 108%）
栽培面積 日本なし（優良中晩生品種）：120 a（前年比 141%）
有機栽培：1,389 a（前年比 135%）
認証 GAP1 件増、GAP 団体認証 1 農場追加、みどり認定 1 件

3 令和 6 年度計画

- 新規需要米等作付推進、耕畜連携推進、牛の飼養管理指導
- 各園芸品目の部会、研究会等の活動支援
- 認証 GAP 取得支援、有機農業志向者の掘り起こし、みどり認定取得支援

地域づくり



山田地区現地打合せ



上桶売地区ワークショップ

1 ねらい

- いわき地域の特色を生かした魅力ある農業・農村振興のため、地域ぐるみの鳥獣害対策の推進や集落営農の育成、消費者との交流活動への支援を行います。

2 令和 5 年度成果

鳥獣害対策のための電気柵等設置指導集落数 7 件
青年クラブ・生活研究グループ主催の交流会への参加者数 177 名
川前町上桶売地区が関係人口創出に向けた活動を開始
地域計画作成集落数 18 件

3 令和 6 年度計画

- 鳥獣害対策のための電気柵等の点検と設置指導、集落環境診断等の推進
- 青年クラブ、生活研究グループによる消費者との交流会開催支援
- 地域計画作成支援、地域農業の維持・活性化に向けた支援
機械・施設等導入事業の活用支援、新規品目の導入提案と栽培指導

ねぎを栽培してみませんか！



いわき市は、県内でも有数のねぎの産地で 50 年以上の歴史があります。「いわきねぎ」は、技術力の高さに裏付けられた「品質」の良さが市場関係や実需者から評価されており、既存市場においても一層の需要が期待されています。

県、市、JA 等では、「いわきねぎ」の品質の高さを維持・強化し、認知度を向上させるために策定した「いわき・ねぎならではプラン」により、栽培マニュアル作成、勉強会開催、産地のブランド化等に取り組んでいきます。

ねぎは、露地栽培が可能で収穫適期に幅があり、10a 当たりの粗収益が 77 万円程度見込めます。

JA では選果場建設、定植機や収穫機を準備する計画もあります。

皆さん、「いわきねぎ」の栽培に取り組んでみませんか。



～みどり認定を受けましょう！～

「みどり認定」は、環境負荷低減事業活動事業に取り組む事業者を福島県知事が認定する制度で、以下のいずれか、または複数の取組について、5 年を目途とした計画を提出することで認定を受けることができます。

- ①土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減の取組を一体的に行う。
- ②温室効果ガスの排出量を削減する。（中干し延長、水稻秋耕の実施等）
- ③その他農林水産大臣が定める環境負荷低減事業活動に取り組む。（生分解性プラスチックの活用等）

また、認定を受けると、以下のメリットを受けることができます。

- ①設備投資の際の所得税・法人税が優遇。
- ②様々な国庫補助金の採択で優遇。
- ③日本政策金融公庫の無利子融資等。

ひとりでも、グループでも申請できます。
将来にわたり農業の持続的発展のため、
「環境にやさしい農業」に取り組みましょう。

～お知らせ～

いわき市堆肥供給者リストの活用を！

リストには、販売者の連絡先や供給可能な時期、成分等が一覧表になっており、牛ふん、豚ふん、鶏ふん、馬ふん由来の堆肥を紹介しています。

栽培する品目や目的に合った堆肥を選び、地域内の有機資源を有効利用してください。

なお、堆肥供給者リストはいわき市のHPからダウンロードできます。

農薬は適正に使用しましょう

以下の点に注意して適正な使用を心がけましょう。

- ① 農薬ラベルや最新情報の確認。
- ② 農薬使用後の記録。
- ③ 農薬使用時の服装。
- ④ 周辺環境への配慮。
- ⑤ 農薬の保管・管理の徹底。

農作業事故に気を付けましょう！

ヘルメットの着用やシートベルトの装着、家族や従業員への危険な箇所の情報共有など、農作業安全に向けた、基本的な取組を実施しましょう！

また、熱中症対策として、こまめな水分補給と休憩等、基本的な対策を行いましょ！

YouTube チャンネルの登録をお願いします！

福島県農林水産部の職員が、県産品の PR や地域の取組等を YouTube にて紹介しています！

ぜひ、下記の QR コードからご覧ください！



地域計画の策定へ

昨年度より本格的に地域計画（地域農業のあり方＋目標地図）の策定が進められています。

当部でも、引き続き計画作成の支援をしてまいります。